

科目名		倫理学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	救急救命士科1年	必修・選択	必修

## 〔授業の目的・ねらい〕

現代医療の直面する諸問題を通じて、医療従事者が遵守すべき倫理規範を理解する。

## 〔授業全体の内容の概要〕

医の倫理や生命倫理は様々な角度からアプローチ可能な学際的な分野だが、本講義では倫理的視点から現代医療の抱える諸問題を考察していく。脳死や安楽死といった具体的なテーマを材料にして、医療の意味と医療従事者の役割に関して問題提起したい。なお、可能な限り、学生同士が議論できる時間を作る予定。

## 〔講師の実務経験〕

## 〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

医療従事者に求められる倫理規範を理解すること。—市民としてのモラル意識を高めること。

回数	講義内容
1	生命倫理概論(生命倫理の背景・ヒポクラテスの誓い)
2	生命倫理の4原則
3	インフォームド・コンセントとパターナリズム
4	リスボン宣言 説明1
5	リスボン宣言 説明2
6	安楽死と尊厳死
7	尊厳死、脳死と臓器移植
8	脳死と臓器移植
	定期筆記試験

## 〔準備学習・時間外学習〕

## 〔使用テキスト〕

書籍名		
救急救命士標準テキスト上巻		へるす出版
他、配布資料		

## 〔単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)〕

授業をふまえた記述式筆記試験(終講時試験)。履修規定に準じる。